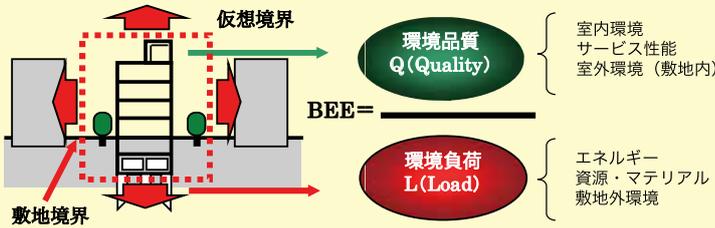


建築物環境総合性能評価システム (CASBEE) とは

産官学共同プロジェクトとして開発された、建築物の環境性能を評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮だけでなく、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

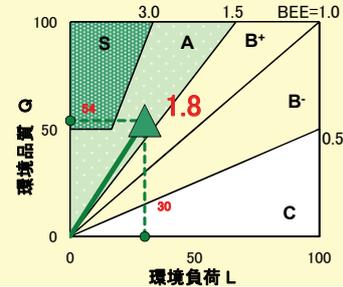
(CASBEE : Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)

CASBEE 評価のしくみ



より良い環境品質(Q)の建築物を、より少ない環境負荷(L)で実現するための評価システム

建築物の環境品質 Q (Quality) のスコアを建築物の環境負荷 L (Load) のスコアで除して算出される指標である、建築物の環境性能効率 BEE (Built Environment Efficiency) により、5段階で格付けします。



ランク	評価	BEE 値ほか	ランク表示
S	素晴らしい	3.0以上、かつQ=50以上	★★★★★
A	大変良い	1.5以上3.0未満	★★★★
B+	良い	1.0以上1.5未満	★★★
B-	やや劣る	0.5以上1.0未満	★★
C	劣る	0.5未満	★

建築物環境性能表示 (ラベル表示)

CASBEE 評価と重点項目である CO₂ 削減、省エネ対策、みどり・ヒートアイランド対策や再生可能エネルギーの導入検討等について、建築物の環境性能をわかりやすく示しています。

例) 大阪府のラベル

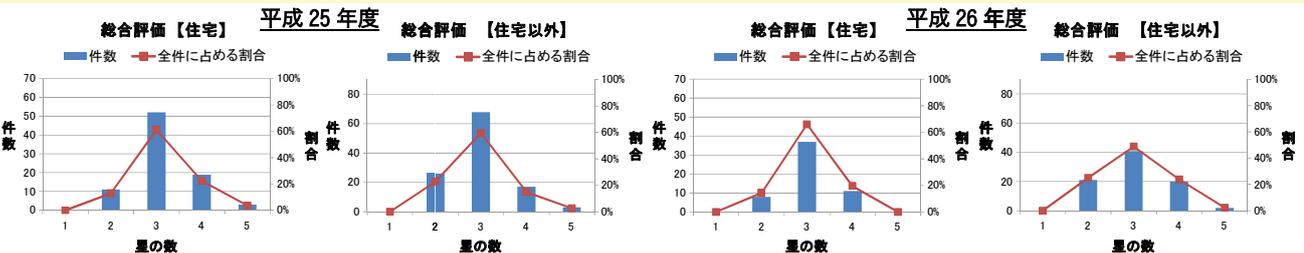
再生可能エネルギー利用設備の導入状況
太陽光発電設備や太陽熱利用設備などの再生可能エネルギー利用設備が導入されているかどうかを示しています。桜マークの表示があれば、該当設備を備えた環境配慮建築物であることがわかります。大阪府内で CASBEE 届出対象となる建築物を新築・増改築する場合は、導入検討義務があります。

CASBEE の総合評価
CASBEE の評価項目に基づき、環境性能を総合的に評価した結果を示すもので、星マークが多いほど優れています。

	重点項目の取組みの評価	具体的な取組みの事例
CO ₂ 削減	トップライトによる自然採光	既存地下躯体の利用 高炉セメントの使用 既存建築物体の継続使用・リサイクル建材の活用 パイオガス施設 (メタン発酵槽)
省エネ対策	Low-e 複層ガラス ルーバーによる日射遮蔽	高効率給湯器 太陽光発電 (自然エネルギーの変換利用) 【ラベル表示】
みどり・ヒートアイランド対策	尾上緑化 ウォーターミスト設置	敷地緑化

届出建築物の総合評価結果の分布状況

届出全体に占める S (星5つ) または A ランク (星4つ) の割合は、住宅、住宅以外のいずれの用途においても 20~30%程度となっています。特に S ランクの建築物は届出全体の数%程度と少なく、非常に環境配慮に優れた建築物であるといえます。



※平成 25・26 年度に大阪府の条例に基づき届出のあった建築物の CASBEE 総合評価の結果について、平成 27 年 12 月末時点で届出内容の確認が完了しているものを対象として集計